

(様式4)

◆ (氏名) 横溝 亮

<所属・職名>

横浜市立鶴見小学校主幹教諭

横浜市日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」日本語支援アドバイザー

<略歴>

2000年(H12)～日系南米の子どもたちのための母語補習教室で日本人スタッフとして活動

2005年(H17) 横浜市立いちょう小学校勤務

2014年(H26) 横浜市立並木第一小学校国際教室担当

2021年(R3)～横浜市立鶴見小学校所属

日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」日本語支援アドバイザー

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

教職に就いて以来、外国につながる子どもたちが多数在籍する学校で学級担任、国際教室担当として勤務してきました。2021年4月から横浜市の「日本語支援アドバイザー」として、横浜市内各学校の国際教室を訪問し、外国につながる子どもたちの学習、国際教室担当者の支援を行っています。

<地域ボランティアとして>

日系南米の子どもたちの母語補習教室に日本人スタッフとして参加し、外国人保護者の困り感、子どもたちのアイデンティティについて考えてきました。

<学級担任として>

一般学級でのJSLカリキュラムを用いた授業を研究してきました。学校全体で多文化共生を目指し、外国につながる子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくりに取り組みました。

<国際教室担当者・日本語支援アドバイザーとして>

国際教室の指導の充実(JSLカリキュラムを用いた授業、デジタル教科書を用いた授業)を目指し実践をしました。国際教室担当者、日本語支援アドバイザーとして、市内の各学校を訪問し、国際教室の運営・指導を助言したり、他市教育委員会主催研修、大学での特別講師として「外国につながる子どもたちの現状」等の研修を行ったりしてきました。

研修等では、以下のような内容を参加者と一緒に考えられると思います。

- | |
|---|
| <p>○外国人児童生徒等教育の背景・現状・施策 ○学校の受け入れ体制 ○文化適応
○言語能力の測定法(DLA) ○子どもの日本語教育の理論と方法 ○日本語指導の計画と実施
○在籍学級での学習支援 ○保護者・地域とのネットワーク ○現場における実践
○成長する教師</p> |
|---|

【研修講師等】

2017年(H29)～東京学芸大学JSL研修講師

2019年(R1) 教職員研修機構「外国人児童生徒等への日本語指導者養成研修」講師

2021年(R3)～横浜市内アドバイザーによるオンライン研修講師(全9回)

今までに、「外国につながる子どもたちの現状等について」他市教育委員会主催研修講師、大学特別講師として講義の実施。

<対応可能学校種>

小学校・中学校

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

遠隔での研修も可能ですが、可能な限り対面での研修を希望します。

(様式4)

<その他(国等の委員歴等)>

文部科学省 2021 年「学習者用デジタル教科書実践事例集」実践提供

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。